



## 卒業生へ ～はなむけの言葉～

校長 平野 浩彦

卒業おめでとうございます。3年生の皆さんは、本校の伝統と校風をしっかりと引継ぎ、勉学に生徒会活動・部活動等に熱心に取り組んで大きな成果を挙げてくれました。

卒業後の進路はそれぞれ異なりますが、三年間学んだこの学校から立ち、新しい生活に入ります。そこには大きな希望と期待があると同時に障害もあります。特に人間関係への適応に緊張感が高まるなど心理的負担があるでしょう。しかし、どのような集団、社会であつても皆同じ人間です。お互いに理解できれば望ましい人間関係が生まれます。

「馬鹿ゲタという下駄をはき縁の下の力モチという餅を食べ、堪忍ブクロという袋を腹に巻いて世を渡ると間違いなし」西行法師

馬鹿ゲタという下駄を履くのは、自分のことだけでなく、人のためにつくことです。馬鹿げているかもしませんが、そのばかげたことをやってみることで、縁の下の力モチというものは、人に目立つ場所で活躍しようなどと考えないで、誰にも見えない場所で人のために努力してみることです。そして、堪忍ブクロを腹に巻くというのは、嫌なことがあるれば、悪い言葉を吐き、人を怒りたくなるでしょうが我慢することです。そうすればきつと新しい人間関係、望ましい人間関係が作り出されます。素晴らしい人生、良き人生を期待します。

31H担任 宮澤 恒太

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

三年間の高校生活の中で、あなたたちは数多くのかけがえのない物語を編んできたはずで、文字にすれば数行で片がついてしまう短いありふれた物語だとしても、それはあなたたちの人生に、これからは脈打つ確かな鼓動になるのではないのでしょうか。

『海の上のピアニスト』という映画に、こんな名言が出てきます。「何かいい物語があつて、それを語る相手がいる。それだけで人生は捨てたもんじやない」。あなたたちの目の前には、様々な可能性の網の目を張り巡らせた世界が広がっています。あなたが生きるということ、そして誰かと出会い、何かいい物語を語るというだけで、それはきつとあなただけではない、みんなの幸せにつながっていくはずで、どうか自分という存在を愛して、生き続けてください。それがあなたたちに託された最も大切な課題であるとぼくは信じます。さようなら、お元気で。



32H担任 道端 理恵

ご卒業おめでとうございませう。時間が経つのは早いですが、入学式、みなさんとお会いすることに楽しみと不安を感じていたあの時から、もう3年。

まだまだ中学生気分が抜けていないと思つていた皆さんが、高校生らしく、そして大人らしい顔つきへと成長していき姿を近くで嬉しく感じていました。そして、これからもどんどん成長していくことを楽しみにしています。でも、やっぱり卒業は寂しいです。

皆さんのほとんどは、4月から家を離れて生活をします。家から離れると、改めて家族や友人の大切さに気付きます。近くにいとるとその存在を当たり前だと感じてしまいがちです。しかし、当たり前だと感じていたその存在こそが皆さんにとってかけがえのない大切な存在のはずです。これからも近くで応援してくれる人たちが大切にできる人になつてください。これからの皆さんの活躍を期待しています。3年間ありがとうございました。がんばれ！



33H担任 山下 恭久

皆さんと一緒に能登高校で学校生活を共にするようになってから早いものでもう3年が経ち、入学した時と比べると、今では一人ひとり立派な大人の顔立ちになりましたね。

私自身も初めての担任をさせて頂き、修学旅行や能登高祭などの学校行事をみんなと取り組む、貴重な体験をすることが出来ました。そういった行事を無事に成功することが出来たのは、本当に一人ひとりの協力があつたからです。とても感謝しています。ありがとうございます。

さて、これからはそれぞれの道を進んでいくこととなります。新たな場所です。新しい不安が大きくなつてくるか不安な自分次第です。自分の努力次第でどうにでも人生を変えることが出来ると思ひます。ぜひ夢を掴み取って下さい。私もみんなに語つた夢を掴むために、日々努力し続けます。離ればなれになりますが、お互い頑張ろう！



# 1月31日 課題研究発表会

一月三十一日(水)にコンセールのとにて、三年生の課題研究発表会が行われました。発表の一部を紹介します。

### 〔農業コース〕

#### 「女花舞みその研究」

「消費者が求める甘口みそを求めて」  
従来の辛口女花舞みそへの県外のお客様から「辛い」もう少し甘い味噌にしてほしい」という意見を多くいただきました。

そこで私達は、万人受けする甘口女花舞みその開発に取り組み始めました。市販の万能みそを参考に、作成目標を設定しました。試行錯誤の結果、砂糖に代わる甘味料として、リンゴに着目しました。その結果、ねぎやしょうがのうま味を引き立てつつ、甘みを増すことに成功しました。また、様々な活用方法も考えることができました。

### 〔水産コース〕

#### 「能登の発酵食品の考察と伝承について」

石川県は様々な発酵食品が多くあることに着目しました。  
伝統的な発酵食品について調べると共に、実際に「なれずし」を作成し、作業工程や注意すべき点などの多くを知ることができました。

能登の発酵食品の考察と伝承について



### 女花舞みその研究

～消費者が求める甘口みそを求めて～



浅井 拓輝  
高田 夢魁  
瀬戸 こめる

### 〔商業コース〕

#### 「地域活性化プロジェクト」

「Instagramを利用した観光プラン」  
能登の少子高齢化による人口減少に歯止めをかけた。能登の魅力

を多くの人に伝えたい。観光客増加により消費を増やし地元企業の活性化に繋げたいという思いから、取り組みました。  
二〇〇～三〇代女性

ターゲットにした「インスタ映えするスポット」を考えた。様々な観光地の特徴やおすすすめスポット、体験活動を紹介しました。  
ツアーの宣伝方法についても、インスタグラムやウェブページでの紹介、パンフレット作成といった方法を考えました。

課題として、天候に左右されないプランも考える必要があります。



### 〔福祉コース〕

#### 「手話パフォーマンス」

で風の「ふるさと」を披露しました。福祉とは？自分達にできることは？これまで学んできたこと・見守ってくださった全ての方への感謝をこの一曲に込め、みなさんに伝えるように一生懸命に練習してきた成果を見事に披露することができました。



### 着こなし講座

一月二十四日(水)に、三年生の就職組を対象に、モリワンワールドから講師を招き、スーツの着こなし方法を学びました。場面に応じたスーツの選び方やネクタイの結び方等、慣れないながらも一所懸命に取り組みました。



一・二年生 進路ガイダンス  
十七日(土)に、進路・就職講話、職業別説明会、学部・学科・分野別説明会、企業インタビューガイダンスが行われました。  
それぞれの進路目標に合わせて、様々な話を聴き、自身の進路に対する意識を高めました。

三年生卒業準備期間へ  
九日(金)、学年末考査を終えた三年生が、卒業準備期間中、卒業後の心構えについて話を聴きました。生徒は四月からの新生活への期待に胸を膨らませるとともに、三月二日(金)に行われる第七回卒業証書授与式に向けて気持ちを引き締めていました。

## 3月の主な行事予定

- 1日 3年各種表彰式  
卒業式準備・予行
- 2日 第7回卒業証書授与式
- 14日 次年度生徒個人写真撮影
- 20日 後期校内球技大会
- 23日 大掃除・終業式・離任式
- 24日 春季休業(～4月8日)
- 26日 春季学習合宿(～28日)

